

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：先端産業課

担当名：推進担当

内線：3735

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B33	技術開発サポート事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	なし			宣言項目	08 稼ぐ力の向上	SDGsゴール		
	令和 4年度			分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsターゲット				
1 事業概要				5 事業説明						
<p>国が実施する補助事業の獲得支援や、技術マッチングによる企業間連携支援により、ウィズコロナ・ポストコロナ社会において県内中小企業の稼ぐ力につながる技術開発の支援を実施する。</p> <p>(1) デジタル技術活用製品開発支援事業 △471千円 補助金審査員が謝金を辞退したこと等による減額</p> <p>(2) 技術開発支援事業 △6,000千円 補助金交付決定額が当初見込みを下回ったことによる減額</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア デジタル技術活用製品開発支援事業 45,185千円 デジタル技術を活用した技術・製品の開発に対して、費用の一部を助成する。</p> <p>イ 技術開発支援事業 31,713千円</p> <p>(7) 補助金等獲得支援 競争的資金獲得のための相談対応や補助金申請支援を行う。</p> <p>(4) 技術マッチング支援 企業のニーズ・シーズをマッチングし製品開発の活性化を目指す。</p> <p>(2) 事業計画 R3年度～ 製品開発支援、補助金等獲得支援、技術マッチング支援</p> <p>(3) 事業効果 専門家の知見を取り込みながら、製品の開発の支援により、県内中小企業の「稼ぐ力」の向上を図ることができる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県産業振興公社、大学・研究機関、民間企業等と連携して実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア デジタル技術活用製品開発支援事業 補助金審査員が謝金を辞退したこと等による減額</p> <p>イ 技術開発支援事業 補助金交付決定額が当初見込みを下回ったことによる減額</p>						
2 事業主体及び負担区分										
ア(県2/3) 事業者1/3 イ(県10/10) 公社0										
3 地方財政措置の状況										
なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×11.0人=104,500千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		繰入金								
決定額	△6,471	△6,471						0	76,898	
現計額	83,369	83,369						0		